

脳血管疾患患者・家族介護者の早期在宅移行支援に関する研究

看護学部（成人看護学）
看護学研究科（成人看護学）

林 みよ子

• 連絡先 E-Mail : m.hayashi@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード

脳血管疾患, 家族介護者, 在宅移行支援, 早期介入

脳血管疾患は、突然に発症して麻痺などの機能障害を残す病気です。機能を回復するためには長期的なリハビリテーションが必要ですが、近年の病院の急性期化や在宅移行推進という国家施策により、こういった方の入院期間もかなり短く、入院後早い時期から退院に向けた準備が開始されます。

しかし、突然後遺症を患った患者もその家族も、まず変化した状態や状況を受け入れなければならないという苦悩に直面する中で、患者は日常生活行動の自立のための訓練、家族は介護スキルの獲得や自宅環境の整備、サポートの体制づくりなどに取り組まなければならない、在宅療養に向けた準備にはかなり時間がかかります。そこで、脳血管疾患患者とその家族の望む生活を実現するために、発症後早期から行う必要のある効果的な看護援助について研究しています。

アピールポイント

脳血管疾患患者とその家族の人生を支える看護の実現に取り組んでいます。